

## 銚子市芦崎終末処理場等包括的維持管理業務 プロポーザル審査表

商号または名称

(審査委員名)

		審査項目	審査項目番号	対応している技術提案書中の章	審査内容	判断基準	配点	審査内容及び判断基準の評価にかかる配点						採点
技術評価点	会社の信頼性・取組姿勢に関する事項	会社の実績等	①	/	法人等の事業の規模が大きく安定しているか。	従業員数が多く、責任者等の資格者の変更への対応ができるか。 経営が安定した内容か(経常的に赤字体質ではないか)。	10	「銚子市芦崎終末処理場等包括的維持管理業務プロポーザル審査基準」の1・2頁に定める採点方法により得点を定める。						
			②		類似施設における維持管理業務の契約実績が豊富か。	類似施設において、維持管理業務を過去5年以内に継続して2年以上受託している。 契約数 * 関東地方以外での実績を含む。	5	5件以上 5	4件 4	3件 3	2件 2	1件 1	0件 失格	
			③		類似施設における包括的民間委託(性能発注でかつ複数年契約)の維持管理業務の実績があるか。	類似施設において、包括的民間委託(性能発注方式・複数年契約)による維持管理業務の過去5年以内に受託している契約数。 * 関東地方以外での実績を含む。	5	5件以上 5	4件 4	3件 3	2件 2	1件 1	0件 0	
		④	業務統括責任者(下水道法施行令第15条の3に記載する資格条件を有するもの)		類似施設の維持管理の実務経験を有しているか。	類似施設の維持管理の実務経験は充分か。 * 責任者として従事したかどうかは問わない。	10	15年以上 10	10年以上15年未満 8	8年以上10年未満 6	5年以上8年未満 4	3年以上5年未満 2	3年未満 失格	
		⑤	取組姿勢		積極的な意欲・熱意が感じられるか。	説明方法・資料に工夫があり、取組意欲を感じるか。	5	A 5	B 4	C 3	D 2	E 1	F 0	
	業務に対する事項	業務内容に対する理解度・優位性	⑥	第1章	当該業務に対して認識が的確であり、目的、条件、内容の理解度が高く、会社としての優位性があるか。	業務の要求内容(放流水質等の水質基準の達成等)が的確に把握されているか。 会社として本業務に対する優位性を感じるか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
			⑦	第2章	組織として、研修・訓練計画が具体的かつ適切に構築・運用されているか。	組織として業務に関する人材育成の体制が整備されているか。 本業務に関する知識・経験といったノウハウが蓄積され、発揮されやすい環境か。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		保守点検・整備	⑧	第3章	運転操作方法、運転操作の体制、人員配置が具体的に書かれているか。	経験年数の豊富な人員、有資格者の配置、安全衛生管理の記載がされているか。 水処理施設、汚泥処理施設、消化施設、ポンプ施設等の運転操作監視業務について施設能力を生かした内容が記載されているか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
			⑨	第4章	保守点検の計画、整備の実施内容が具体的かつ適切に書かれているか。	早期修繕、点検頻度ごとの具体的な点検方法が記載されているか。 人員配置の具体的な記載がされているか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		水質試験・汚泥性状分析	⑩	第5章	水質試験の頻度などが、仕様書に沿った内容になっているか。	内容の頻度、項目、分析方法が適切か。 検査結果や分析結果の管理方法や活用方法が記載されているか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		緊急時の対応・臨機の措置	⑪	第6章	災害時、緊急時の対応が適切に記載されているか。	想定される水質悪化・突発故障・事故への対応手順に対する具体的な記載はあるか。 法人としてのバックアップ・サポート体制が記載されているか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		修繕計画 その他の業務	⑫	第7章	修繕計画、その他の業務について適切に記載されているか。	修繕計画の考え方・内容は適切か。 清掃・除草業務や見学者対応業務、その他業務について方針・体制について具体的に記載されているか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		コスト縮減対策	⑬	第8章	コスト縮減に関する方策が適切に記載されているか。	市として有益な提案がされているか。 ユーティリティに係る費用の縮減を図る具体的な提案があるか。	10	A 10	B 8	C 6	D 4	E 2	F 0	
		効果的な提案	⑭	第9章	業務の実施に際して効果的な提案があり、その内容が適切か。	業務上、有益かつ効果的・独創的な提案か。 提案内容が具体的かつ現実的な内容か。	5	A 5	B 4	C 3	D 2	E 1	F 0	
価格評価点	提案価格書	本業務に対する提案価格	⑮	/	提案価格が適正か。 提案価格の内訳項目に重大な欠落がないか。	上限価格と同額(100%)を50点 上限価格の65%から75%を80点とし、右欄の計算式で算出した点数 なお、上限金額の65%を下回る金額、上限価格を超えた金額及び重大な欠落項目があった場合は0点とする。	80	提案価格 円 計算式 (△提案価格/上限価格×30/0.25)+(50+30/0.25)						
計							200							